2026/11/24

＜金標準、金利、AI、逃避の悲観相場・・＞




（出所：オアシス）

ウォラーFRB 理事の大幅利上げ示唆の発言やFRB 要人からのインフレ抑制の利上げ支持の動きなど、金利を生まない金にとって市場からの資金逃避に繋がる要因である。また AI 関連企業でも半導体大手エヌビディアの CEO 辞任や四半期決算でも株価を押し上げる事は出来ていない。特に AI 企業のアンソロピックの新規上場でも 7 倍以上の倍率から高値で寄り付くも、上場から 9%下落するなど、AI に対する過剰投資の懸念が高まりを見せ、ナスダックや S&P など大幅下落を見せ、S&P は高値から 10%の下落を見せている。そのため金市場からマージンコールの資金逃避やリスク回避の現金化の動きが加速し、NY 金は昨年 9 月以来の 3500 ドルまで下げている。金標準先物も同様に 18153 円まで下値を模索しており、NY 金同様に昨年 9 月の水準まで下げている。ただゴールドマンサックや UBS など 2028 年には 5000 ドルを予想するなど、米国の財政赤字や政府債務の問題に原油相場の高止まりなどドル不信に伴い金の魅力は復活する情勢であり、下げ止まりを待つのが妥当に思える。

＜テクニカル＞

金標準先物の日足の MACD では、MACD が下げながら、シグナルも下げている。RCI は短期のさえ出し、長期は維持しており弱気の継続。また日足が指数平滑移動平均線のレンジから下げており、弱気の域の中であるが自律反発の動きには注意が必要と思える。

2026/11/24

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

〇商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 6,150,000 円（2026 年 11 月 24 日現在）です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。 〇商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 5 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。 〇商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 77,660 円（2026 年 11 月 24 日現在）です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社（商品先物取引業者）の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当（東京）電話 03-5540-8423 （受付時間：平日 8:30～17:30）
証券・金融商品あっせん相談センター https://www.finmac.or.jp 日本商品先物取引協会相談センター https://www.nisshokyo.or.jp